

平成28年度 各学校から報告された通学路における危険箇所と対応策

No	小学校区	所在地	概要	対 策 案			
				印西土木事務所	印西警察署	印西市(建設課・土木管理課・市民安全課)	教育委員会・学校
1	木下小	印西市木下1408かべとう付近の横断歩道	標識等が不明瞭で、遠くから横断歩道であることを認識しづらくなっている。歩道の幅が狭い。児童登校時は、車のスピードが速く、駅に急ぐ通勤通学の自転車も走っていて、危険である。			○電柱幕を設置済	○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○関係機関等(PTA)と連携し、立ち番等による現地指導と安全確保を行う。
2	小林小	印西市小林2712道作古墳群付近の歩道	学校から牧場方面へ向かう道。雑草がはびこっており、歩道が狭くなっている。			○除草作業実施	○自ら身を守る安全指導を徹底する。
3	船穂小	印西市武西187番地付近の横断歩道	横断歩道や停止線の白線が薄くなっている。		○横断歩道や停止線の再塗装		○自ら身を守る安全指導を徹底する。
4	内野小	戸神台1丁目ローレルスクエア付近の十字路	駅に向かう道路であり、交通量が多い上、大通りまで信号がないため車がスピードを出している。事故も多い。横断歩道はあるが消えかかっている。		○横断歩道の再塗装		○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○学校やPTAのボランティアの協力で安全確保を行う。
		内野2丁目団地入口	木々が多く、見通しが悪いため、カーブを曲がってきた車両との接触事故が心配される。横断歩道が薄くなっている。		○看板の設置		○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○学校による定期的な安全指導を行う。
5	小倉台小	印西市中央北3丁目1番地1付近の横断歩道	朝の登校時、交通量が多い。特に駅へ向かう自転車の交通量が非常に多く、とても速い速度で走行している。また、歩道走行や斜め横断、右側通行などが多く児童と接触の危険性が非常に高い。			○左車線内に自転車走行の表示	○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○歩道の歩き方(点字ブロックの車道側ではない方)の指導の徹底。 ○関係機関等と連携し、現地指導と安全確保を行う。
6	高花小	高花4丁目2番地 高花郵便局付近のT字路	狭い道路にも関わらず、スピードを出して走っている車がいる。			○「学童注意」の路面表示	○自ら身を守る安全指導を徹底する。
7	西の原小	印西市西の原1丁目 西の原公園付近の丁字路	カーブで見通しが悪い丁字路だが、ダイヤマークや一部横断歩道が消えている。通学だけでなく、放課買い物や遊びに行く際にも多くの児童が通る。			○道路のドット線表示	○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○学校やPTAのボランティアの協力で安全確保を行う。
8	原小	草深2158-2付近の交差点	道が狭い上、抜け道になっている。			○道路のドット線表示	○自ら身を守る安全指導を徹底する。
		草深2185-2	道が狭い上、抜け道になっている。			○道路のドット線表示	○自ら身を守る安全指導を徹底する。
9	平賀小	印西市平賀学園台2丁目21番地さざなみ第二公園付近の横断歩道	信号のない交差点。横断歩道の向こう側に公園がある。放課後は子どもたちの遊び場となる。			○電柱幕(5箇所)の設置	○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○関係機関等(PTA)と連携し、現地指導と安全確保を行う。
		平賀826付近の三差路	信号のない三差路。人通りも少なく危険。			○電柱幕(5箇所)の設置	○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○関係機関等(PTA)と連携し、現地指導と安全確保を行う。
		平賀学園台2丁目バス停の台付近の横断歩道	信号のない交差点。横断歩道の塗装がはがれている。			○「歩行者注意」の看板設置	○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○関係機関等(PTA)と連携し、現地指導と安全確保を行う。
10	本笠第二小	中田切 本笠第二小給食センター付近の交差点	路面の「止まれ」の白い文字が薄くなっている。この場所は交通量が多い。学校に来る車の通り道のため、登下校に車が集中する。			○「止まれ」の再塗装	○自ら身を守る安全指導を徹底する。 ○送迎の際の保護者へ注意喚起をする。